

サイトトゥオンブリー「楓々」no.3 1986年 © Cy Twombly, Courtesy Matthew Marks Gallery, New York

By Artists

画家たちの写真

ジョゼフ・アルバース
 コンスタンティン・ブランクーシ
 ピエール・ボナール
 パブロ・ピカソ
 エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー
 ロバート・ラウシェンバーグ
 サイト・トゥオンブリー
 アンディ・ウォーホル

1997年12月3日[水] — 1998年2月3日[火]

〈会場〉東京都写真美術館2階企画展示室 〈観覧料〉一般・大学生600(480)円 / 小・中・高校生300(240)円 〈常設展との共通観覧料〉一般・大学生1,000(800)円 / 小・中・高校生500(400)円 いずれも()内は20名以上の団体料金。小学生未満、65歳以上の方、および障害のある方とその介護の方1名は無料になります。(証明できるものをご持参ください) 〈開館時間〉午前10時—午後6時(木、金曜日は8時まで、入館は閉館時間の30分前まで) 〈休館日〉毎週月曜日(月曜日が祝日または振替休日の場合はその翌日)、年末年始(1997年12月28日[日]—1998年1月5日[月]) 〈主催〉東京都写真美術館 / 読売新聞社 〈後援〉外務省 〈協力〉AIR FRANCE / 王子製紙株式会社 / 日本アグファ・ゲバルト株式会社 / 東武鉄道

東京都写真美術館
 〒153 東京都目黒区三田1-13-3 Tel.03-3280-0031

Josef Albers
 Constantin Brancusi
 Pierre Bonnard
 Pablo Picasso
 Ernst Ludwig Kirchner
 Robert Rauschenberg
 Cy Twombly
 Andy Warhol

優れた画家や彫刻家の眼が自ら求める「映像」とは、いったいどのようなものなのでしょうか。

本展では、8人の画家・彫刻家たちが撮影した写真を取り上げますが、それらは絵画や彫刻を制作する過程で生じた副産物(参考資料や下図)といった二次的な類のものとして簡単に処理することのできない、映像としての力強さ、いわば写真メディアにおける自立した視座をうちに秘めた存在として捉えることができるものです。

光のニュアンスや時間・空間のあり方に敏感であり、二次元の平面上(フレーム)において、また三次元のフォルムと関わることによって、その関係を新たに構築することのできる画家・彫刻家は、視覚によって育まれる経験と直観(感受性)に、つくり手としての根幹のすべてを負っているといっても過言ではないでしょう。そして彼らの眼は、写真という全く異なる表現領域においても、それぞれ独自のアプローチを試みることもできる可能性をもっているのです。

絵画や彫刻の生成を司る眼差しが、写真メディアにおいて、どれほど豊かなヴィジョンを獲得(提示)することができるか。それは素朴な余技をはるかに超えた密度のなかで、彼らが常に「見ること」を主体にした表現者であることの意味を含みながら、映像の無限の魅力へと迫るスリリングな内容を生起させていくのです。

今回は、いままでその写真作品の存在がほとんど知られることのなかった、20世紀を代表する画家パブロ・ピカソをはじめ、ジョゼフ・アルバース、ピエール・ボナール、コンスタンティン・ブランクーシ、E.L.キルヒナー、ロバート・ラウシェンバーグ、サイト・トゥオンブリー、アンディ・ウォーホルら日本初公開かつ、撮影者自身の焼き付けによる「ヴィンテージ・プリント」を多数含む展示構成により、画家・彫刻家たちによる写真の可能性と、その深度を探ろうとするものです。(出品予定点数115点)

By Artists

画家たちの写真

【講演会開催のお知らせ】

日時：1997年12月4日[木] 午後6時—8時
 テーマ：「ジョゼフ・アルバースの写真作品について」
 講師：ニコラス・フォックス・ウェーバー(ジョゼフ・アンド・アニー・アルバース財団理事)
 場所：東京都写真美術館1階ホール / 聴講無料・定員 200名(先着順)

【展覧会のご案内】

◎ハローダイヤル 03-3272-8600 ◎インターネット <http://www.tokyo-photo-museum.or.jp>

*毎月第2、第4金曜日の午後2時より担当芸員によるフロア・レクチャーを行います

【次回企画展予告】

「クロッシング・ザ・フロンティア——アメリカ西部風景の変容」展 1998年2月11日[水]—4月3日[金]



ロバート・ラウシェンバーグ「無題(古い馬車の内部)」1949年頃 © Robert Rauschenberg, Courtesy PaceWildensteinMacGill, New York



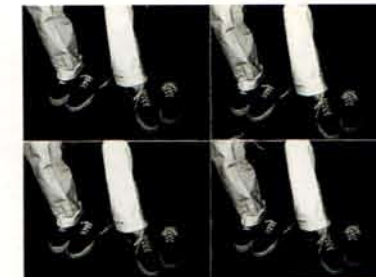
ピエール・ボナール「マルト」1900-01年 Coll. Musée d'Orsay Don sous réserve d'usufruit des enfants de Charles Terrasse au musée d'Orsay 1987. Cl. musée d'Orsay, Patrice Schmidt



ジョゼフ・アルバース「クアフルステンダムにて、1929年夏」 Coll. The Josef and Anni Albers Foundation



コンスタンティン・ブランクーシ「アトリエの風景、無題柱、ボガニーニ」1925年 Coll. Mnam / Cci / Centre Georges Pompidou



アンディ・ウォーホル「無題(足とスニーカー)」1976-86年 原美術館蔵 © Andy Warhol Foundation for the Visual Arts / ARS, New York / SPDA, Tokyo, 1997



パブロ・ピカソ「カダクスのアトリエ」1910年 Coll. Archives Picasso, Musée national Picasso, Paris



エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー「若い女の肖像(ネーレ・ファン・デ・フェルデ?)」1920年 Coll. Kirchner Museum Davos



交通機関—JR恵比寿駅東口より徒歩7分(恵比寿ガーデンプレイス内) お車でのご来館はご遠慮ください。